

■ 登壇者略歴（継承略・発表順・五十音順）



オリ・ジェイ (Ollie Jay) シドニー大学 暑熱と健康 教授

暑熱と健康に関する研究インキュベーター (Heat & Health Research Incubator) と熱人間工学研究室 (Thermal Ergonomics Laboratory) ディレクター。米国と欧州で国際的な公衆衛生熱波政策に直接影響を与えた大規模プロジェクトを主導。熱生理学、運動科学、熱・生物物理学の分野で 20 年の経験を持つ。



橋爪 真弘 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健政策学 教授

専門は気候変動疫学。医師、医学者。気候変動のグローバルな健康影響と適応策について研究。気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第 6 次評価報告書第 2 作業部会第 10 章「アジア」にて、主執筆者としてアジアにおける健康影響について執筆。



今田 由紀子 東京大学 大気海洋研究所 准教授

東京工業大学研究員、気象庁気象研究所主任研究官などを経て、2023 年 4 月から東京大学大気海洋研究所准教授。大気モデルや大気海洋モデルを用い、異常気象の発生要因や数年から数十年規模の気候変動のメカニズムなどを研究。



佐々木 隆史 一般社団法人 みどりのドクターズ 代表理事

滋賀医科大学卒、京都民医連中央病院、名古屋大学総合診療部研修等を経て、2013 年こうせい駅 診療所を開設、病児保育室併設。プライマリ・ケア連合学会 指導医、在宅医学会専門医。2 か月のワクチンから 100 歳の在宅看取りまで。2021 年みどりのドクターズを発足し、2022 年一般社団法人化。



藤原 武男 東京医科歯科大学 国際健康推進医学分野 教授

東京医科歯科大学医学部卒、同大学大学院にて医学博士号、ハーバード大学公衆衛生大学院にて MPH 取得。専門は社会疫学、ライフコース疫学で子どもを中心に社会環境の健康影響の研究を幅広く展開。東京医科歯科大学ウェルビーイング創成センターを設立、気候変動を主要なテーマとして現場の課題解決にも取り組む。



渡辺 知保 長崎大学プラネタリーヘルス学環長 教授

熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授。保健学博士。東京大学名誉教授。専門は人類生態学。環境条件や遺伝的性質による化学物質の毒性修飾など、人間集団と環境、持続可能性と健康との関係について、環境保健・毒性学という切り口からフィールドとラボの両方で研究。



菅原 丈二 日本医療政策機構 副事務局長

2015 年東京大学医学系研究科国際保健政策学教室主催の GHE プログラム修了後、2016 年 10 月より日本医療政策機構に参画。医薬品アクセス、医療技術評価、薬剤耐性をテーマとしたグローバル専門家会合の企画実行に携わるほか、グローバルヘルス・エデュケーションプログラムや医療政策アカデミーといった、医療政策人材の養成プログラムを担当。